

令和 5 年度川崎駅周辺帰宅困難者対策訓練の実施結果について

1 訓練実施日

(1) 駅滞留者対応及び施設開設訓練（実働）

※実働訓練については、各駅・施設の都合の良い日時で実施

(2) 施設開設・運営訓練（図上）

日時：令和 6 年 2 月 14 日（水）14：00～16：00

2 訓練参加機関（敬称略）

(1) 交通機関

ア JR 川崎駅

イ 京急川崎駅

(2) 施設（一時滞在施設マップ順）

ア 川崎地下街アゼリア

イ 川崎日航ホテル

ウ ホテルメッツ川崎

エ ミューザ川崎 ※2

オ ラゾーナ川崎プラザ

カ 川崎商工会議所（川崎フロンティアビル）※1

キ 川崎市産業振興会館 ※2

ク 川崎市教育文化会館

ケ 幸市民館・図書館

コ 京急川崎駅前ビル ※1

サ カルッツかわさき

シ 川崎競輪場

ス スペルノーヴァカワサキ ※1

(3) 川崎市

危機管理本部、川崎区役所、幸区役所

※1 駅滞留者対応及び施設開設訓練（実働）には参加できず。

※2 施設開設・運営訓練（図上）には参加できず。

3 訓練内容

(1) 駅滞留者対応及び施設開設訓練（実働）

ア 通信訓練（無線機を使用した情報受伝達訓練

（ア）各駅

駅から区役所へ駅滞留者の状況を無線で連絡した。

(イ) 各施設

施設から区役所へ開設の開始と完了を無線で連絡した。

イ 施設開設訓練（実働）

各施設が開設後、市職員が施設の開設状況をチェックし訓練終了とした。

(2) 駅滞留者対応及び施設開設・運営訓練（図上）

ア 訓練参加企業

状況付与カードに対応状況等を記入した。

イ 川崎市

状況付与カードに対応状況を記入し、対応方法について議論した。

ウ 図上訓練振返り・情報交換会

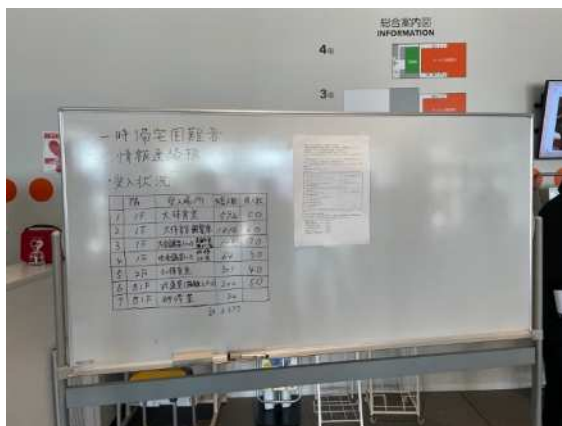
4 訓練想定

- (1) 令和6年2月14日（水）18時20分、川崎市直下の地震（M7.3、川崎区・幸区で最大震度6弱）が発生した想定とする。（18時20分：気温10°・天候 晴れ、23時頃：気温6°、天候 雨）
- (2) 市内全域で4,700人程度の死傷者が発生
- (3) 約1割の世帯で建物全壊か半壊、電気、ガス、水道等のライフラインは半数以上で停止
- (4) 鉄道、バス等の公共交通機関は終日運行停止を決定
- (5) 電話はほとんど通じず、携帯電話等による通常の通話は不能
- (6) インターネットは、通信制限がかかっているが使用可能
- (7) 川崎駅周辺は、ビル看板の落下、窓ガラスの破損等が多く発生、屋内は商品・什器の散乱が著しい

5 訓練時の様子

(1) 駅滞留者対応及び施設開設訓練（実働）





(2) 施設開設・運営訓練 (図上)



6 訓練実施結果について

訓練に参加した機関に対してアンケートを実施したことから、その回答内容をもって訓練実施結果報告とさせていただきます。

(アンケートの主な回答結果は下記の通り。一部回答文章の表現を整理しています。)

(1) 訓練を実施して印象に残った訓練、良かった点

ア 図上訓練では、普段話をする事のない民間事業者の対応等がどうなっているのか話が聞けて良かった。

イ 災害時の公共交通機関 (JR 川崎駅／京急川崎駅) の対応を具体的にお聞きすることができ、理解できた点がよかった。

ウ 他施設の詳しい状況が確認出来た点

エ 状況により開設の可否判断、開設の場合は想像以上に時間がかかる事が分かった点

オ 図上訓練では各施設の動きがわかって良かった。

カ 帰宅困難者が施設収容人数を超えたときに行政側がどのような動きをされるのか
分かり、良かった。

(2) 訓練における改善事項について

ア 施設に現在いる利用者が駅滞留者にならないようにするためには、最寄りの交通
機関の情報が一番重要となるため情報の確認手段を確立する必要がある。

イ 基礎的な訓練なので改善事項は特にないが、基礎的なことが故、継続していくこと
が大事だと感じます。

(3) 今後の川崎駅周辺帰宅困難者対策において実施・検討したいこと（訓練要望）、訓練
の開催内容・方法などについて

ア 多少、帰宅困難者の施設滞在が長期化することを想定して、限られた施設にどのよ
うに配置していくことが好ましいのか考えることができる訓練を行うことも良いと
思います。

イ 震災の時間帯によっては、開設が難しい場合や、公的の援助が必要な場合がある。

ウ 各施設の訓練（対応）を実際に体験したい。／一時帰宅困難者受入後のそれぞれの
施設の役割も理解したい。

(4) 川崎駅周辺帰宅困難者対策の課題点、改善点について

ア 開設している状況だけが伝わり、行ってみたら満員となってしまう場合他
に行くところがない人への対応はどうするのか？まず駅近くの施設から満員になり、
最後に幸市民館へ行くというケースが考えられるためトラブルの発生が想定される。

イ 自施設において時間帯による人員数で開設の可否および時間が大分変る事につい
てが課題点。

ウ 第一には現状施設を利用している方の対応となってしまうため、如何に人を分散
させ混乱を防ぐことができるかが課題と感じました。

エ 行政・一時滞在施設・駅が訓練を通じて顔の見える関係を継続することを希望しま
す。

オ 現在は、無線機が情報受伝達の主体になっているが、その他の情報伝達手段は無い
のか。

カ 2023年末に参画したため、まだわからない部分が多いため、今後ある訓練など
に引き続き参加していきたいと思います。

以上